

【オリコンサルグローバルがバングラ鉄道接続改善 コンサル業務を受注】

コンサル業務を受注
オリコンサルグローバル
がバングラ鉄道接続改善

オリエンタルコンサルタンツグローバルは14日、バングラデシュ国鉄から、アジア開発銀行（ADB）融資案件の「バングラデシュ鉄道接続改善事業」のコンサルディング業務をJV受注した。契約期間は同日から30カ月。11の鉄道サブプロジェクトの事業化調査、設計、費用算出、事業

計画の作成支援などを実施する。

同国は、貨物・旅客輸送の需要が急速に高まっており、主要都市と地方都市、港湾間の連結・接続の利便性が良い交通網の開発が求められている。今回の業務は、同社を代表とする、仏イージスレールとマレーシアHSS Integrated Sdn Bhdの3社JVで受注した。

契約調印式にはバングラデシュ鉄道省のヌルル・イスラム・スジャン大臣とフマユン・カピール次官、同国鉄のカムルル・アサン総裁ら、オリコンサルグローバルからは浅野雄司タッカ事務所長が出席した。写真。

